

令和元年5月10日号（第196回）

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

今回の阿伎留通信は、「6階東病棟のご紹介」をテーマに、6階東病棟の藤田 三和 看護師長よりお話しさせていただきます。

6階東病棟は、内科・循環器内科・呼吸器内科・呼吸器外科の患者さんを対象とした病棟です。糖尿病・高血圧などを中心とする生活習慣病や、心不全・心筋梗塞などの急性期の疾患に対する医療と看護を提供しています。最近では肺癌における治療選択の幅が拡大し、放射線療法や化学療法が積極的に行われています。

また、最高階である6階は、窓から差し込む朝陽が清々しく感じられ、緑の山々とイオンモールが一望でき、景観がとても素晴らしいのも特徴です。

入院患者さん1人に対して、入院から退院まで1名の看護師が責任をもって担当させていただきます。患者さんにご家族の意思を尊重し、寄り添う看護を心がけています。

<病棟の特徴>

6階東病棟は10歳代から90歳代と幅広い年齢層の患者さんが入院されます。検査入院から生活習慣病の教育入院、急性期から慢性期に及ぶ病気の治療と看護を提供させて頂いています。入院時から地域医療連携センター、栄養科、リハビリテーション科、薬剤科など他部署のスタッフと連携をとり、チーム医療を展開し、患者さんのニーズに応えられ、質の高い看護が提供できるよう病棟全体で取り組んでいます。

循環器内科は週2回（月・水）、手術前の心機能の評価や、狭心症や心筋梗塞などのカテーテル治療を実施しています。呼吸器内科は気管支鏡検査をはじめ、化学療法・放射線療法など実施しています。

<スタッフ紹介>

循環器内科医師：4名、 呼吸器科内科医師：1名、
呼吸器外科医師：1名、 総合内科医師：1名、
腎臓内科医師：1名、 生活習慣病医師：1名、
リウマチ科医師：1名
看護師：27名
看護補助者：3名



<対象疾患>

内科は全身性あるいは内臓などの病気を、主に薬物療法によって治療します。肺炎・心不全・悪性腫瘍・糖尿病・高血圧・心筋梗塞・狭心症などの治療を行っています。

<療養環境>

病室は清潔感があり、大きな窓からは日差しも入り、明るく感じられます。病室毎のトイレや洗面など設備面でも満足して頂けると思います。落ち着いた病室で、ゆっくりと安心して病気を治療して頂くため、環境を整えています。

病棟の廊下には、看護補助者によって、患者さんの心に季節感を感じていただけるよう四季折々に装飾をしております。ぜひ、目にとめて見てください。



6階東病棟スタッフ一同、「笑顔で元気に明るく、思いやりの心で」をモットーに仕事に取り組んでいます。

公立阿伎留医療センター 患者サービス改善委員会 発刊

阿伎留通信については、バックナンバーを公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)